

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.122

2017.11.12 合併号

くしろ丹頂



釧路地区農協青年部協議会 設立50周年記念式典

(歴代会長を代表し、斉藤和弘さんが謝辞を述べました。)

CONTENTS

- JA北海道大会実践フォーラム ————— 1
- 2017北海道ホルスタインウィンターフェア
JA青年部・JA女性部合同牛乳消費拡大運動—— 2
- 釧路地区農協青年部協議会 設立50周年記念式典
G Grass (グッドグラス) 2017 ————— 3
- 釧路丹頂農協酪農振興会視察研修
JA女性部料理講習会
JAくしろ丹頂白糠年金友の会 温泉慰安旅行 ——— 4
- 釧路酪農チャレンジ60「946運動」
2017海外酪農研修視察報告 ————— 5～8
- よつ葉乳業(株)新入社員 酪農実習報告/職員研修会 — 9
- 普及センターだより ————— 10
- 准組合員について学ぶ ————— 11
- JAグループ通信 ————— 12
- JAバンクからのお知らせ ————— 13
- 理事会報告/生乳生産実績/退職者/辞令発令 ——— 14
- 年末年始日程表 ————— 15



職員研修会を実施

大会決議の実践事例等を共有し発信へ!!

～JA北海道大会実践フォーラム～



パネリストとして話す斉藤和弘氏

11月21日、JAグループ北海道は札幌市において、全道のJA、連合会、青年・女性組織等の代表者約1000名（当JAから5名）が参加し、JA北海道大会実践フォーラムを開催しました。

第28回JA北海道大会（平成27年11月）で決議された基本目標「協同の力で『農業所得20%増大』と『新規担い手倍増』・『食と農を通じて北海道550万人と『つながり』を実現』等決議事項についての実践事例を紹介し、グループ内外へ発信する目的でJAの取り組みや有識者の議論を共有しました。

実践事例では、JAけねべつが「協同の力で実現する新規担い手倍増に向けて」、JAひがしかわが「食と農でつながる550万人サポーター

づくりと准組合員制度に対する取り組み」をそれぞれ報告しました。

「協同の力で実現する新規担い手倍増」をテーマにしたパネルディスカッションでは、有識者6名が意見を交わし、パネリストとして参加した斉藤和弘氏（北海道農協青年部協議会顧問）は、「酪農家がホームステイを受け入れるにあたり、高校生が来ると楽しそうに農業体験をしている。体験を通じ農業を将来、職業の選択肢として考えてもらえるのではないか。」と話しました。

今後も引き続き決議事項の実践と550万人サポーターづくりを進めていくことを参加者全員が確認し大会は終了しました。

2017北海道ホルスタイン ウインターフェア

～全道各地の代表牛が揃い資質を競う!!～

10月22日、十勝農協連
家畜共進会場(音更町)で、
2017年北海道ホルスタ
イン ウインターフェアが
開催されました。
全道各地からホルスタ
イン牛145頭が出場し、瀬
能剛氏(岩見沢市酪農家)
が審査にあたりました。
当JAからは、5農場よ
り7頭が出場し、高レベル
牛が揃う中、健闘をみせま



入賞牛一覧 (当JA出品分)			
部	順位	名 号	出品者 (地区)
1部	13位	パラダイス マナー ランス モントレー	松田 浩二 (白糠)
3部	16位	A サルサ マツカチエン レジーナ ET	安藤 功 (幌呂)
3部	11位	レディホープ キヤピタル チツプ	(農)清和農場(鶴居)
4部	19位	B S マツク サンハイ マツカ	(株)大坂ファーム(音別)
5部	2位	ウツズスター ジュディー シュリンプ タラ	林 稔幸 (白糠)
8部	5位	ウツズスター エンペラー スパーク ラツシュ レオ	林 稔幸 (白糠)
11部	2位	ウツズスター ブロー ジュディー タラ ET	林 稔幸 (白糠)

した。
グランドチャンピオン
は、上士幌町・小椋淳一氏
の出品牛スウィートネス
ARK ダミオン エポエポ
(第12部シニア3歳クラス)
が選出されました。
尚、主な入賞牛及び出品
者並びに受賞者は表のと
おりです。

「根釧牛乳」のおいしさを伝えるために!!

～JA青年部・JA女性部合同 消費拡大運動～



10月29日、コープさっぽろ釧路星が浦店
で、当JA青年部・女性部合同による牛乳
消費拡大運動を実施し、両部員6名が、店
内の特設売り場で、「根釧牛乳」を無料配
布しました。
日曜日の昼時という時間帯で、多くのお
客様が訪れる中、青年部員と女性部員が笑
顔で声をかけ、お客様に試飲して頂くと、
「美味しかったよ、ご馳走様!!」など多く
の方からお声がけを頂き、根釧牛乳の美味
しさを広くPRしました。

設立50周年を祝う!!

～釧路地区農協青年部協議会・記念式典～



11月6日、釧路地区農協青年部協議会は、釧路市内のホテルで設立50周年記念式典並びに研修会を開催しました。

管内6JAから関係者が集まり、記念式典では青年部協議会の30周年以降の活動経過が報告され、歴代会長紹介及び感謝状の贈呈式が行なわれ、受賞者を代表して斉藤和弘さんが謝辞を述べました。



大坂隼人さん・青年の主張で最優秀賞!

研修会では、青年の主張発表会が開催され、当JA青年部音白支部の大坂隼人さんが「私の農場・酪農の将来について」と題して発表、最優秀賞を受賞し、全道青年部大会へ釧路管内を代表し出場する事になりました。

当JAからの歴代会長				
第16代会長	山田 巧さん	音別	第18代会長	北村康浩さん
第19代会長	松井芳則さん	幌呂	第21代会長	藤田直樹さん
第27代会長	斉藤和弘さん	鶴居		

～G'Grass (グッド・グラス) 2017～



サイレージの品質チェック

11月15日、弟子屈町摩周観光文化センターで、「グッド・グラス2017」(フォーラム&展示会)が開催されました。

管内の農業者・各関係者計231名が参加し、展示ブースでは19農場から持ち寄ったサイレージの品質について投票し、安宅一夫審査員(酪農学園大学名誉教授)の講評を受け、参加者からも「今後のサイレージ作りに参考になりました。」との声も聞かれました。



釧路丹頂農協酪農振興会 視察研修



(株)シントクアユミルクを視察

11月7日から2日間、当JA酪農振興会は、10名の会員で視察研修を実施しました。1日目は、札幌市の「アサヒビール北海道工場を見学し、2日目は、新得町の農業生産法人(株)シントクアユミルクを視察しました。当農場は平成28年に稼働し、搾乳ロボット8台、現在420頭、将来は500頭で5000tを目標とするメガファームです。また、コンピューター管理された自動換気システムなど最新鋭の施設等を視察しました。

JA女性部・料理講習会

鶴居支部は、乳製品を使用したほうれん草のクリームパスタ等6品目、幌呂支部はミルク酢とカッテージチーズを使ったちらし寿司等5品目を調理、試食した部員からは「おいしい、また作りたい」と大変好評でした。



鶴居支部



幌呂支部

11月21日、JA女性部鶴居支部及び幌呂支部は牛乳及び乳製品を使用する料理講習会を鶴居村総合センター及び幌呂農村環境改善センターでそれぞれ実施しました。

JAくしろ丹頂白糠年金友の会 温泉慰安旅行



懇親会時 ものまねショーでの楽しいひと時

11月9日から3日間、当JA白糠支所年金友の会は、阿寒湖畔において温泉慰安旅行を実施しました。会員58名が出席し、ホテルで森進一さんのものまねショーやビンゴ大会などで懇親を深めました。また、「下町かぶき組」による時代劇を見る等思い出に残る楽しいひと時を過ごしました。

釧路酪農チャレンジ60「946運動」

2017海外酪農研修視察 報告

営農部 営農相談課 営農相談係長
鈴木 郁也



10月7日から14日の日程にて管内JA職員6名、釧路農協連1名、JA北海道中央会根釧支所1名、ホクレン釧路支所1名、ホクレンくみあい飼料1名、全農インターナショナル欧州1名（現地合流）、及び添乗員1名の総勢12名で、デンマーク、オランダに研修視察を行いました。

デンマーク視察

10月9日

○Madsen Baioenergi視察

Madsen Baioenergi

ergiiは3年前に3兄弟で設立したバイオガス施設です。

設立した背景として、元養豚農家でしたが豚肉価格の乱高下によって経営が安定しなかったことや、バイオガス施設の建設と、6年間の買い取り

価格への補助制度から安定性が見込めた事、また、近隣農家からの家畜糞尿が集められる目途が立ったため設立したとの事でした。原料は88%の家畜糞尿と、12%の自家産デントコーンサイレージ（240ha分）によって、約70日間かけてガスを生産、販売していました。現在のガス市場販売価格は約88円/m³に対しバイオガスは35円/m³で販売しているので約53円/m³の補助を受けているとの事でした。

○Svend Otto Sogaard牧場視察

Svend Otto Sogaard

Sogaard牧場は、フリーストール牛舎で飼養し、16頭ダブルのパラーによって経産牛450頭のジャージー種で、3、500tのオーガニック

ク牛乳を出荷している牧場でした。

特徴としては、オーガニック牛乳を出荷するため、年間180日以上放牧を5月から11月まで行い、化学肥料は使用できないためクローバーを重視した草地改良を行っている点です。また、ジャージー種を選んだ理由は、乳成分が高く乳代でより有益である事



Madsen baioenergi 糞尿の受入、排出



○Britt Brochner
er牧場視察
Britt Brochner
牧場は、フリーストール牛



Svend Otto Sogaard牧場 FS牛舎内

と、ホルスタイン種と比べ体が小さく1頭当たりの占有面積が少なくて済み建設コストが下げられ、品種改良が進んだ事もあり乳量もホルスタインと遜色がないとの事からでした。



Britt Brochner牧場 FS牛舎内・搾乳ロボット

舎で飼養し、2台の搾乳ロボットによって経産牛135頭のミックス牛で、1、270tの生乳を出荷していました。特徴としては、ジャージー種やバイキングレッド種、シャロレー種、ホルスタイン種を交配し交雑種にしている点です。理由としてはSvend Otto Sogaard牧場同様に牛体を大きくし

10月10日

○SEGES視察

デンマークでは農家の経営や効率性向上のため最新技術や国際市場の動向を把握し、現場のニーズに対応するため、デンマーク農業アドバイザーサービス(DAAS)があります。主に農家に直接的にコンサルティングを行う地方農業アドバイザーセンター

たくない事や、交雑種にする事で肢蹄が強くなるとの事からでした。デラバルの搾乳ロボットを使用していました。が、選んだ理由として安価である事と、搾乳ロボットに合わない牛でもマニュアルで搾乳が出来るため。また、搾乳ロボット以外にも自動給餌車によって10回/日の給餌を行っていました。



SEGESでの研修風景

(LACS)と、最新技術の普及やシステム開発及び販売などを行っているSEGESによって構成されています。SEGESは宿泊地でもあるオーフス近郊のアグロフードパーク内にあり、パーク内には北欧で最大手乳業メーカーのアーラ・フーズなど農業関連企業が多数ありました。研修では、農家の収支状況

や負債状況、活動内容、今後の展望について説明を受けました。説明の中で2025年までに繋ぎ飼いが禁止されるとの事からアニマルウェルフェアが進んだ国である事を改めて感じました。また、30年後の政界情勢において人口増加、健康志向やバイオエネルギー需要への高まり、異常気象による水不足からデンマークは高い生産性と競争力を持つており、世界的にみても有利な国であると予想していました。

午後からは、種子販売を行っているドイツのDSV社の方からペレニアルライグラス種子の生産を行っている草地と、ペレニアルライグラス、赤クローバー、白クローバー混播草地、各1圃場の視察を行いました。尚、DSV社は

デンマーク国内でも7万ヘクタールの圃場で種子を委託生産しています。



種苗会社DSV担当者による草地説明

オランダ視察

10月12日

○LALY視察

LALYでは会社概要や搾乳ロボットを中心とした実績、及び今後の展望について説明を受け、搾乳ロボットの製造

現場の視察も行いました。

エントランスには搾乳ロボットや自動給餌機、自動餌押し機、自動除糞ロボット、哺育ロボットなど、労働力負担軽減と自動化に関する最新機械が展示されていました。

LALYの2016年の売り上げは約600億円で、その内6%が研究開発費に費やし、特許も2,550個取得



LALY社 エントランス風景

しています。

搾乳ロボットの製造は2日間で製造するとの事でしたが、受注生産であるため製造準備に3ヶ月かかり、日本に輸出する際は更に6週間かかるとの事でした。

現在進んでいる搾乳ロボットの最大導入プロジェクトはドイツで行われており、最初に48台導入し最終的に72台まで拡大すると説明を受け、スケールの大きさに驚きました。

○Aantjes牧場視察

Aantjes牧場は経産牛130頭、育成牛70頭を1つの牛舎で飼養するオールインタイプの牧場でした。

特徴として牧場内での作業の殆どをLALYの機械によつてオートメーション化しており、2台の搾乳ロボット



Aantjes牧場 FS牛舎

以外にも除糞ロボットや自動給餌ロボット、哺乳ロボットが管理し、スマートフォンのアプリケーションによって操作出来るとの事でした。また、兄弟3人が経営に参画していましたが、全員パートタイムで働き全ての労働力を足すと1.5人分である中、個体乳量が1万kgを超える事が出来るのも、L A L Yの機械の



Den Eelder牧場 FS牛舎

おかげであると説明をしていました。
○Den Eelder牧場視察
Den Eelder牧場は経産牛500頭、育成牛500頭を飼養し、搾乳については全て搾乳ロボットによって行っていました。牧場で生産された生乳は自社工場で加

工、販売まで行い、外部からも生乳を受け入れていました。また、太陽光パネルやバイオガス施設によって電力を賄っており、副産物である堆肥を牛床に活用していました。

今年9月より稼働している牛舎では2台の搾乳ロボット以外にも餌押しロボットや自動寝蓐投入機を備え、当牧場でも出来る限りオートメー

ション化が図られていました。次年度も新たな牛舎を建設する予定であるとの事でした。乳代が不安定であっても6次化しているため、外的要因による影響が最小限に抑えられるのとの説明を受けました。

海外研修視察を終えて

最新鋭の機械や技術的な事を学ぶ事ができ大変有意義な海外研修視察となりました。



また、世界情勢に大きな影響を受け不安定な乳価情勢下であっても、環境保全や動物福祉を遵守しながら、牛舎周辺に芝を植え綺麗に手入れをし、環境整備が行き届いていたことに感銘を受けました。各関係機関におかれましては、このような視察に参加する機会を頂き大変有難うございました。

酪農実習報告

～ 10月によつ葉乳業(株)の新入社員を当JAで受け入れました。～

受入先 對木隆司 農場

よつ葉乳業(株)
研究統括部 中央研究所

上 幸代 さん



酪農実習所感

10月11日より6日間、對木牧場様にて酪農実習をさせて頂きました。生まれも育ちも北海道の私ですが、牧場に行くのは小学校の社会科見学以来であり、なんとなくでしか酪農の仕事イメージすることができなかったのですが、ここでは想像以上にたくさんの驚きと発見がありました。

実習の直前、對木牧場様には搾乳ロボットがされていることを聞いていたため、人の手で行う仕事はあまりないのではないかと想像していましたが、機械化が進んでも人の手で行わなければいけない作業は多くあることが分かりました。例えば、牛舎の掃除ひとつとっても、たくさんいる牛のベッドひとつひとつを掃除していく作業はとても大変に感じましたし、大量の牧草を全ての牛が食べられるように運んで与えることも相当力がある作業でした。他にも子牛の世話や時期によっては牧草の刈り取りなど、休み無くされていることにひたすら頭の下がる思いでした。また、このようにたくさんさんの仕事をこなしながらも、非常に細やかに牛の管理をされている

たことも印象的でした。個々の牛について体調や乳量の変化にすぐ気づいて乳房の状態に合わせて治療したり、乳量に合わせてエサの量を調整したりと、まるでわが子に接するような愛情を感じました。

私は入社1年目で業務用乳製品の開発の仕事をしており、普段何気なく乳資源を利用していましたが、生乳生産は多大な苦労と細かい配慮があつてこそ成り立っているということを今回の実習を通して実感しました。よつ葉乳業は酪農家によってつくられた乳業メーカーであり、「酪農経営の長期安定」および「適正乳価の形成」を社是に掲げているところが他の乳業メーカーとは異なる特徴だと思います。私もよつ葉乳業の開発担当者として、貴重な乳資源を無駄にせぬよう生産者の皆様にもお客様にも喜んでいただけるような乳製品を開発したいと改めて感じました。また、酪農についてももっと勉強していきながら、酪農と共に発展するということを常に心に留め、日常の業務に励みたいと思います。受け入れてくれた對木牧場の皆様、JAくしろ丹頂の皆様、本当にありがとうございました。

職員研修会を実施

10月19・20日の両日、本所及び白糠支所で全職員と子会社を対象としたコンプライアンス・個人情報セキュリティ・JAの仕事・協同組合を学ぶをテーマとした研修会を実施しました。

講師にJA北海道中央会根釧支所 元木貞貴主査を迎え、北海道における不祥事件等の発生状況、発生のメカニズム、個人情報漏えい対策等や、JAの仕事・協同組合の源泉、北海道の農協はどんな努力をしてきたかなどについての研修をしました。

今後も研修会等を継続実施し、不祥事未然防止対策等に取り組んで参ります。



子牛の寒冷対策

前回の子牛の下痢対策に引き続き、今回は、子牛の寒冷対策について説明したいと思います。

子牛は寒さに弱い

寒さに弱い理由として、

- ① 体重当たり表面積が大きい
- ② 体脂肪が少ない
- ③ 第一胃の発酵熱が少ない

そのため、哺育牛の成長に影響する温度は13度以下と言われており、泌乳最盛期の乳牛の生産性に影響するマイナス25度以下と比較しても、寒さに弱いことがわかります。

気温をつける時期はいつ

例として、鶴居村の月別の平均気温(図1)を見てみます。

施設内の気温が外気温より5〜10度程度高いことを加味すると、子牛にとっての寒い時期は、平均気温五度を下回る11月〜4月であり、寒冷対策が必要な時期になります。

寒さによる影響

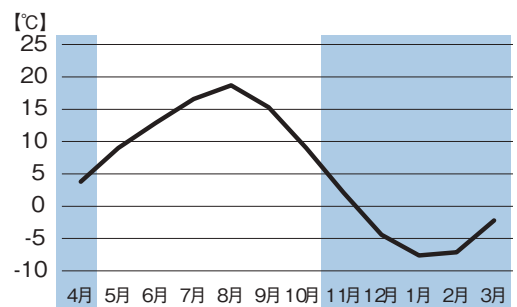


図1 鶴居村の月平均気温 (アメダス)

寒冷対策例

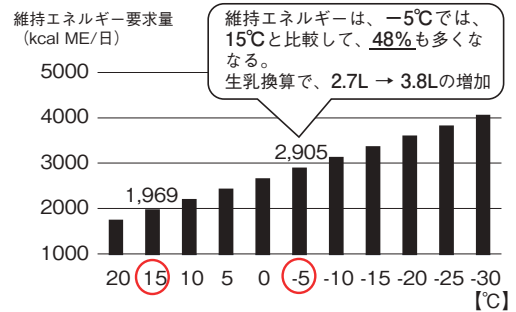


図2 維持エネルギー要求量と気温(NRC2001)

【新生牛の保温】

新生牛は、体表が羊水で濡れているため、揮発熱により、体温が奪われやすくなっています。そのため、被毛の早期乾燥が重要で、母牛のリッキングやタオルなどでの拭きが必要で、最近では、保温機の導入が進められています。これにより、数時間、新生牛を置いておくことで、効率的な被毛の乾燥を図ることができるようになりました(写真1)。

乾燥後の初乳の飲みが良くなったなどの声があり、効率的な抗体の摂取が可能になったと考えられます。



写真1 保温機

【出生以降の保温】

出生以降も、完全な自己免疫を獲得するまでに、1ヶ月程度かかるため、その間も十分な保温管理が重要です。

対策例として、

- ① ジャケットやネックウォーマーの着用
- ② 湯たんぽやヒーターの設置
- ③ 十分な敷料やゴムマットとの併設

(オガクズ: 8cm以上)

(麦稈: 四肢が隠れる程度)

- ④ すきま風の侵入防止や側壁へのカーテンの設置
- などがあります。

この冬は、ぜひ寒冷対策に取り組んでみて下さい。

准組合員について学ぶ（全4回シリーズ）

平成26年5月、「規制改革会議_農業ワーキンググループ」が『准組合員の事業利用は、正組合員の事業利用の2分の1を越えてはならない』との意見を示したことで、准組合員について議論が進められています。今回はこの意見の背景を考えてみましょう。

【第3回】規制改革推進会議とは



生徒

「農協改革」を旗印に、准組合員の利用を規制しなさいと言ってくる『規制改革推進会議』ってどんな組織で、ねらいは何なんだろう？

『規制改革推進会議』は総理大臣のアドバイザー的な機関で、議論した内容を総理大臣に意見する組織だよ。農業ワーキンググループは、「農業の成長産業化」を目的に農業関係の規制をテーマに話し合いをしているね。

背景には、信用・共済シェアを奪いたい「グローバル企業」と、「在日米国商工会議所」の思惑があると言われているよ。



先生



生徒

クミカン廃止の議論の時もそうだけど、北海道の各地域の実態を無視して東京で議論しているよね。准組合員の利用規制が地域の農業や経済に悪影響を与えるとしか思えないけど、規制されちゃったらどうなるの？

貯金額やAコープ・ガソリンスタンドでの准組合員の利用量が、正組合員の利用量の半分を占めているJAで考えてみようか。

新たに町に住む人が、給与振込や家賃引落とし用に貯金口座を作ろうとしても准組合員になれないから、口座開設ができないし、Aコープやガソリンスタンドも利用できないから、食べ物やガソリンが買えないかもしれない。



先生



生徒

ええ！地域の皆さんが、自分の意思でJAを選んで利用するのが、ダメになっちゃった。道内にはJAしか金融店舗やAコープがない地域もあって地域インフラを支えているのに…。何かできることはないかなあ。

JAグループは、地域を守るためにも規制に反対の姿勢を取っているよ。

でも、それだけでは足りないんだ。JAを利用する組合員一人ひとりが、JAが利用できなくなるとどうなるか、ちゃんと自分事として考えて、JAが地域に必要なんだと声を上げないと、このまま規制されるかもしれないよ。



先生



生徒

そうなんだ。僕も自分事としてJAが利用できないとどうなるのか、地域のためにJAが果たしている役割を考えてみるね。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動
内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその
時々のトピックスなど、組合員の皆様に
定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEB
サイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【北大との連携協定を締結】

JAグループ北海道と北海

道大学は、食と農を中心とする幅広い分
野の科学技術・学術及び産業の振興、教
育の発展を目的とした包括連携協定を締
結しました。

農業・農村を取り巻く様々な課題に対
応するべく、北海道大学と共に、先端技
術を活用した農業生産、
道産農畜産物の価値創
出、地域社会づくりや
人材育成などの面で連
携・協力関係を築きな
がら「力強い農業」と
「豊かな魅力ある農村」
の実現を目指します。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、家族や
周囲の人へ伝えたいことを書き残す「エ
ンディングノート」のセミナーを初開催
しました。(10月・札幌市)
行政書士の山根氏が相続・
遺言の仕組み等を解説後
「エンディングノートは遺
言書を作る準備にもなる」
とJAバンク版エンディングノート「い
まから帳」の書き方を紹介し活用を呼び
かけ、「大変参考になった」等、参加者
にご好評いただきました。



ホクレン

北海道の味覚を一堂に集め
た毎年恒例秋のイベント
「2017第46回ホクレン
大収穫祭」を札幌三越本
館で開催しました。生産
者の方の営農へのこだわ
りを消費者に知っていた
だくとともに、消費者の方がどんなこと
を生産者に望んでいるかを知りあう場と
して、交流イベント「食と農のふれあい
広場」を開催。JA道青協、JA道女性
協の役員の皆様のご協力もあり、どのイ
ベントも大盛況でした。



JA共済連北海道

10月より、地域貢献活動の一
環として組合員や地域住民の皆さまにJ
A共済のロゴ入り反射材付き帽子5万個
を配布しています。夜間でも運転者が歩
行者を視認しやすくすることを目的に全
道JAを通じて順次配布し、交通事故未
然防止と根絶を呼びかけ
ます。今後も組合員や地
域住民の皆さまが安心・
安全に暮らせるよう、地
域貢献活動に取り組んでま
いります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆
様の生命と健康を守るため、本
会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを
目的として、広報誌「すまいる」を発行
しております。年3回
発行しており、様々な
医療・健康情報を発信
しております。ホーム
ページにもバックナ
ンバーを掲載してお
りますので是非ご一
読ください。



JAバンクをご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年
(2018)

1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

休止させていただくサービス



JAバンクのATM

JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス

デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用不可、ご利用可能期間および利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンク
ホームページ

<http://www.jabank.org/>

JAバンク北海道



理 事 会 報 告

11月定例理事会 平成29年11月29日(水)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 10月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 理事に対する資金の貸付報告について
6. 大家畜特別支援資金による借換対象資金に係る延納利息の減免について

付議事項

- 議案第1号 融資の承認について
議案第2号 固定資産の取得について
議案第3号 草地整備改良事業費の支出について

その他協議事項

1. 機構改革について
2. 当面の業務日程について

■平成29年度	生乳生産実績(11月)			
	月計乳量(kg)	11月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	7,905,903.1	100.2	65,991,841.9	97.6
鶴居地区	2,873,028.4	104.7	23,707,445.0	102.3
幌呂地区	2,120,929.2	100.7	17,542,038.3	97.2
白糠地区	1,578,464.5	98.3	13,524,040.4	96.6
音別地区	1,333,481.0	92.9	11,218,318.2	90.1
管内計	41,952,766.1	101.7	352,938,123.3	98.2
(前年度管内計)	41,232,290.6		359,548,332.8	

大変お世話になりました。



渋谷 守

全共連北海道本部
自動車損害調査部
釧路自動車損害調査
サービスセンター(出向)

師走の候、組合員の皆様にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
私こと この度11月30日をもちまして釧路丹頂農業協同組合を退職いたしました。

昭和55年4月に旧鶴居村農業協同組合に奉職以来37年間の永きにわたり大過なく勤務できましたのも、組合員、役職員の皆様をはじめ連合会、関係機関の皆様からのご指導とご協力を頂いたおかげであり、心より感謝とお礼を申し上げます。

退職後につきましては、釧路自動車損害調査サービスセンターの職員として、自動車事故の対応をして参りますので今後ともよろしくお願い致します。

最後に、釧路丹頂農業協同組合の益々の発展と組合員の皆様、役職員皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。

長い間お世話になりありがとうございました。

辞 令 発 令

(平成29年11月17日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
山本 将平	購 買 部 燃料課鶴居給油所係	音別支所 営農課営農係

編 集 後 記 EDITOR'S NOTE

□JAグループ北海道が作成したインターネット・スマートフォンアプリ「JA 2MP」(ジェイエー・ジャンプ)がダウンロード開始から一年が過ぎ、一万ダウンロードを突破しました。ジャンプは「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」の新たな情報発信媒体として展開中です。チェックインスポットでポイントを貯めると『おいしい北海道の特産品』などが当たる企画に応募する事が出来ます。組合員及び役職員の皆様方からも、ご家族やお知り合いの方々へジャンプを広げて頂き、サポーターづくりを推進して参りましょう!!

本年も広報誌たんちょうの作成にご協力頂き誠にありがとうございました。

JAくしろ丹頂 年末年始日程表

年月日	部門	各 地 区 の 事 務 所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別				
平成29年 12月25日(月)								通 常 業 務		
12月26日(火)					初生集荷					
12月27日(水)										
12月28日(木)					一般市場（初生のみ）					
12月29日(金)	業務納め		業務納め		業務納め					
12月30日(土)		業務納め								
12月31日(日)							業務納め＊			
平成30年 1月1日(月)										
1月2日(火)							業務始め＊			
1月3日(水)										
1月4日(木)		業務始め			初生集荷・業務始め					
1月5日(金)										
1月6日(土)	業務始め		業務始め							

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成29年 12月25日(月)									(抽選開始)		
12月26日(火)	(抽選開始)			(抽選開始)							
12月27日(水)											
12月28日(木)											
12月29日(金)	年末大売出し		業務納め	年末大売出し		業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(土)	↓			業務納め	業務納め・午前のみ*				↓		
12月31日(日)	業務納め*	業務納め*					業務納め*		業務納め*	業務納め*	
平成30年 1月1日(月)											
1月2日(火)							業務始め*				
1月3日(水)		業務始め			業務始め*						
1月4日(木)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(金)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1月6日(土)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営 業 日	休 業 日
	1/6(土)は、全業務午後4時までの営業となります。
	1/6(土)・7(日)・8(月・祝)金融ATMはシステムの更新により休業となります。(13ページをご参照願います。)

・ 万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル（☎0120-258-931）に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、田村課長（090-7647-4585）に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸（57-8388）もしくはホクレン（佐々木職員090-5953-9781）に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、大石課長（自宅6-2734 携帯090-1640-0376）に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、給油所（2-2084）に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、泉課長（090-7055-1541）に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、泉課長（090-7055-1541）に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所（小松原職員080-5471-3655）か（岡田職員080-6540-4620）に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・ Aコープは1月4、5日は午後5時までの業務となります。
- ・ 生産資材に関することは、林課長（090-8905-1705）に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、若狭係長（自宅6-3707 携帯090-4870-9101）に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・ 12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分（厳守）対応となりますので、よろしくお願い致します。